

# 肥満による膵臓細胞のエピジェネティクス異常を発見

## ～膵癌発症予測や発症阻害因子の開発に期待～

我が国における膵癌の罹患者数、死亡者数はともに増加傾向にあり、最近では、肺癌、大腸癌、胃癌に次いで、癌死亡原因の第4位となっています\*1。膵癌の発生を高めるリスクとして、肥満、糖尿病、慢性膵炎、飲酒や喫煙等があげられますが、ハイリスク状態から膵癌の発生に繋がる分子機序は不明のままです。

今回、我々は、肥満マウスの膵臓外分泌細胞におけるDNAメチル化のパターンを網羅的に解析し、ヒト膵癌早期ステージのDNAメチル化パターンと比較解析しました。その結果、両者に共通してみられるメチル化異常を抽出することができました。本成果は、ハイリスク因子に暴露している膵臓外分泌細胞から膵癌が発症する分子機序の解明、その発症予測、さらに発症阻害因子の開発等に繋がると期待されます。本成果は、Biochem Biophys Res Commun誌に掲載されました(available online 1 November 2022. doi: 10.1016/j.bbrc.2022.10.105.)。 \*1:国立がんセンター2019年統計

図： 肥満マウスのエピジェネティクス異常と癌発症

